

 城南民児協だより じょうなん 城南のひろば	【令和7年1月1日号】
	発行日 2025年1月1日
	発行所 城南民生委員 児童委員協議会
	発行者 眞壁 四郎

「福満」の誕生を探る

城南民生委員児童委員協議会
会長 眞壁 四郎



城南学区お住いの皆さんに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
城南小学校の前身が福満国民学校であることを一年前の「城南のひろば」でお伝えしました。「福満」は、平仮名表記「ふくみつ」として城南小学校だよりのタイトルになっています。中学生が通う南中学校のそれは「風かをる」（校歌一番の最初の文言）です。

『滋賀県市町村沿革史』第三巻（昭和39年発行）をひもとくと、明治18（1885）年、連合戸長役場制によって各村（字）はその管轄下に入り、宇尾村（福満村最初の役場が置かれたのは宇尾）他八カ村（甘呂・開出今・竹ヶ鼻・西今・野瀬・小泉・戸賀・平田）は一つの連合になりました。明治22年、市制・町村制が施行されると、県は連合戸長役場管轄区域をもって一町村とする基本方針を決め、現地の意見を聞きました。犬上川南岸の甘呂・開出今、北岸の竹ヶ鼻・宇尾・西今（明治27年、役場は西今に移り、昭和12年の「彦根市」合併に至ります）・野瀬は現連合を可とし、小泉・戸賀・平田の三カ村はなしうれば山之脇・後三条と一村をなすことを望みました。その後、甘呂・開出今の両村は元来富裕の村で相当の共有財産をもち、一村独立が可能で、かつ一朝出水の節は他の七カ村と交通が杜絶する位置にありましたので、南青柳村と称して独立しました。そこで他の七カ村が一村をなし、竹ヶ鼻以外が古昔「福満庄」（「庄」は、荘園の名を踏襲した地名などにつける呼び名。広辞苑第七版より）に属したところから福満村と称しました。ここに初めて「福満」の言葉が公に誕生しました。

結びになりましたが、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

定例活動

月度定例会(戸賀会館) 研修会18時～19時 定例会19時10分～20時

- ◇ 4月13日(土) 研修「令和6年度城南民児協事業計画(案)と予算について」
- ◇ 5月18日(土) 研修「令和6年度城南民児協事業計画」
- ◇ 6月 8日(土) 研修「民生委員として活動する中で心掛けること」
- ◇ 7月13日(土) 研修「子どもの現状と取組～子どもの人権を守るために～」
- ◇ 8月10日(土) 研修「障害者福祉に関する知識習得と障害者支援の基本的な学び」
- ◇ 9月 7日(土) 研修「敬老会の講師に招かれて」
- ◇ 10月12日(土) 研修「地域で見守る認知症対策」
- ◇ 11月 9日(土) 研修「住民への支援に関わる情報交換」
- ◇ 12月 7日(土) 研修「地域包括支援センターが果たす役割」

=== 令和7年 ===

- ◇ 1月11日(土) 研修なし
- ◇ 2月 8日(土) 研修なし
- ◇ 3月 8日(土) 研修「読んでいただける、見ていただける広報づくり」

9月の研修は、野田光氏による
ヴァイオリン演奏と語り



児童福祉部会

子どもの現状と取組～子どもの人権を守るために～



- ◇開催日時 7月13日(土) 18時～19時
- ◇場 所 戸賀会館
- ◇講 師 彦根市役所子育て支援課 森野 晃司 氏

しつけは、子ども的人格や才能などを伸ばし社会において自律した生活を送れるようにすることなどの目的から子どもをサポートして社会性を育む行為。体罰とは、保護者の思いにかかわらず身体に何らかの苦痛を引き起こし、または不快感を意図的にもたらす行為(罰)。

秋の2・3歳児親子のつどい

- ◇開催日時 10月27日(日)10時～11時
- ◇場 所 県立盲学校体育館
- ◇参加者 (71名。内対象幼児22名、
弟姉妹14名、保護者35名)



1歳おめでとう訪問

- ◇訪問日 満1歳の誕生日 (対象ご家庭と事前調整)
- ◇訪問先 対象ご家庭宅
- ◇訪問者 主任児童委員と地区担当民生委員児童委員

保護者の7割弱がパパも参加
イクメンパパに  !



主任児童委員と地区担当民生委員が、彦根市の委託を受けて満一歳を迎えられたお子様のご家庭を随時訪問しています。お子様の健やかな成長を応援し、子育てに役立つ情報等をお知らせしています。困ったことや不安なこと等をお聞きし、市や関係機関に問い合わせ対応します。

障害者福祉部会

障害者福祉施設訪問・見学(社会福祉法人 ひかり福祉会 HEART WORK 結)

- ◇訪問日 6月21日(金)
- ◇場 所 HEART WORK 結 (彦根市大藪町)
- ◇参加者 6名



就労継続支援B型事業所



一般就労を希望する障害のある方(65歳まで)を対象に、就労に向けた訓練や求職活動への支援。日常的には、作業所での仕事に参加し、働くことを通じて基礎的な力をつけ、ハローワークや「働き・暮らし応援センター」と連携しながら、職場見学や実習に取り組み、就労に向けた支援が行われています。

障害者福祉に関する知識習得と障害者支援の基本的な学び

- ◇開催日時 8月10日(土)18時～19時
- ◇場 所 戸賀会館
- ◇講 師 彦根市障害福祉課 藤井 伸一氏

①障害者(児)とは、②障害者福祉施策の概要、③地域福祉施策の状況などを学びました。
障害特性に対する理解を深め、社会にある「障害(バリア)」によって生じている困りごとや痛みに気づき、自分ができることを考えながら、行動に移したいものです。



高齢者福祉部会

地域で見守る認知症対策

- ◇開催日時 10月12日(土)18時～19時
- ◇場 所 戸賀会館
- ◇講 師 すみよしクリニックデイサービスセンター
所長 野村 武司氏



認知症になったら、何もわからないでもありません。誰よりも不安なもの、苦しいもの、本人であることを理解し接することが大切です。進行段階が中期であっても誰かの見守りがあれば日常生活は自立できますが、このタイミングを見逃すと更に認知症が進行し、手助け・介護が必要となります。このことから見守りの重要性が叫ばれています。

人権部会

民生委員として活動する中で心掛けること



- ◇開催日時 6月8日(土)18時～19時
- ◇場 所 戸賀会館
- ◇講 師 彦根市人権啓発指導専門委員
米田 多喜雄氏

人権とは誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利です。何気なく話している言葉の中に差別的な言葉づかいはありませんか。立場を変えて自問自答すると不適切な言動が浮かび上がるかもしれません。常に相手の立場に立って接する重要性を実感しました。

広報部会

- ◇城南のひろば発行(3回/年)
発行日 4月1日号、8月1日号、
令和7年1月1日号
- ◇イベント案内資料など作成
- ◇彦根市民児協連HPへ投稿(随時)
- ◇記録(共催行事含む)行事毎の
写真撮影、情報収集など



全体

視察研修

- ◇開催日時 10月16日(水)8時30分 彦根発
- ◇場 所 滋賀県危機管理センター
- ◇講 師 知事公室防災危機管理局 河原 貞雄氏
- ◇会 費 3,500円
- ◇参加者 12名

○施設見学

○みんなで考えよう!水害から命を守る「流域治水」

- ① 近年の降雨と水害の状況
- ② 城南学区内の浸水リスクと避難行動
- ③ お役立ち情報(参考)

避難は早めに! 浸水すれば流れがなくても歩行は困難、夜中になれば川や側溝の位置もわかりません。犬上川に接する我が地区は、日頃から川の水位にも意識を。

川の防災情報



国土交通省

共催行事の紹介

ときめくあそび塾

- ◇開催日時 7月21日(日) 9時30分~11時30分
- ◇開催場所 プロシードアリーナHIKONE まちなか交流棟
- ◇内 容 つくってみよう! たいけんしてみよう!
- ◇参加者 190名(子供79名、保護者43名、ボランティア68名)



〈昭和レトロあそび〉



〈貯金箱づくり〉



〈調剤体験〉

ときめくシルバーイベント

- ◇開催日時 9月16日(日) 9時30分~12時
- ◇場 場 プロシードアリーナHIKONE まちなか交流棟
- ◇内 容 第1部
 - ・長寿の方へのお祝い表彰
 第2部
 - ・落語会
 - ・津軽三味線 独奏会
 - ・マジックショー
- ◇参加者 161名(内協力者40名)



お祝い表彰



落語会
神楽家 小粋さん



津軽三味線 独奏会
加賀 文子さん

寿



マジックショー
マジシャン MOTOさん